

よく流される奴らのクトゥルフ神話TRPG

シャイガイ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

作者の脳内で楽しく暮らす探索者たちが、神話生物たち（NPCも含む）と

奮闘する物語である。

目次

血は海の水よりも濃くて	1
相對する狂乱	50

血は海の水よりも濃くて

PL1：ムツシヤムツシヤ、まずっ！

PL3：何このお菓子、カニの食べられない部分の味がする……

PL4：飲み込めないほどマズイ！

PL2：人のお菓子食べといてそれかよ

KP：元よりPL2さんが作るものは壊滅的にまずいんですよ

PL2：はつきり言わないで！

KP：全員キャラ紙用意できましたか？

PL1：ゲロ付いてますけどいいですか？

KP：見えるのなら大丈夫です

PL2：ちよつと酷すぎやしない？

KP：それでは、順にキャラ紹介お願いします

帝坂：ねこですよろしくおねがいます

帝坂・王魔（テイサカ・オウマ） 性別：男 年齢：25歳

職業：放浪者 母国語：日本語

STR：12 DEX：14 INT：18 アイデア：90

CON：15 APP：18 POW15 幸運：75

SIZ：8 SAN75/99 EDU：20 知識：99

HP：12/12 MP15/15 DB+0

〔技能〕

言いくるめ：95% 聞き耳：75%

目星：80% 心理学：95% 忍び歩き：84%

運転（自動車）：76% 図書館：99%

他の言語（ラテン語）86% 回避：49%

〔所持品〕

・スマホ、ハンカチ、ティッシュ、財布、伊達メガネ、ライター
年収600万 財産3000万

KP：開幕収容違反やめてくれませんか？

帝坂：クソトカゲよりマシでしょ

PL2：プロフィールに元詐欺師って書いてあるんだけど

帝坂：一応そうですね

PL3：なーんか信用置けないわね

帝坂：僕を信用するなんて正気ですか？

PL4：そうだぞ、こいつに貸したものは絶対に帰ってこないこと
で有名だからな

PL3：まあ、こいつとTRPGすると基本めちやくちやになるも
んね

PL2：ルーニーとかそういう問題じゃないもん。ただの迷惑な人
だよ

PL4：なのになんでコイツと卓囲ってんだろうな、俺達

帝坂：だんだん僕への罵倒になってるんですけど

KP：じゃあちよつとはルーニーを抑えてください。次

隈田：隈田です。よろしく

隈田・良平（クマダ・リョウヘイ） 性別：男 年齢：23

職業：フリーター（2010探偵ベース） 母国語：日本語

STR：12 DEX：16 INT：12 アイデア：6

0

CON：11 APP：16 POW：15 幸運：75

SIZ：12 SAN：75/99 EDU：16 知識：

80

HP：12 MP：15 db：0

〔技能〕

言いくるめ：65% 心理学：95%

図書館：95% 鍵開け：71%

目星：95% 拳：70%

武道（立）：61% 聞き耳：65%

〔所持品〕

・スマホ、手帳、名刺、ハンカチ、手袋

年収450万 財産2250万

帝坂：フリータでこれですか

PL4：めちやくちや技能値高いな

PL3：設定に合わせなさいよ

隈田：しようがないじゃん。何か有能になっちゃったんだから

帝坂：言うほどパラメーターが高い訳じゃないんですけどね

KP：高くない（DEX、APP、EDUが16）

隈田：高スペック詐欺師に比べたらね……

PL3：何でこいつにINT18もあるのよ

PL4：狂人に頭脳を与えるなどあれほど……

帝坂：誰が狂人ですか誰が

KP：ハイ次

隈田・夢華（クマダ・ユメカ） 性別：女 年齢：9

職業：女優 母国語：日本語

STR：8 DEX：14 INT：8 アイデア：40

CON：9 APP：18 POW：10 幸運：50

SIZ：9 SAN：50／99 EDU：6 知識：3

0

HP：9 MP：10 db：—1D4

〔技能〕

芸術（演技）：85% 変装：75%

芸術（歌唱） 35%

応急手当：45% 追跡：50%

〔所持品〕

・スマホ、ティッシュ、ハンカチ、色紙

年収800万 財産4000万

KP：捨て子だったのを隈田さんに拾われて今では養子か

PL4：地味に設定が重いんだよコイツ

帝坂：何で色紙持ってるんです？

夢華：女優とかやつてるとね、色んな有名人に出会うのよ。その度

その度

サイン貰ってるのよ

帝坂：のわりにサインペンは常備してないんですね

夢華：別に今回は芸能人に会う予定ないからね

帝坂：じゃあ何で色紙持つてんでしようね
PL4：つかコイツ、良平より年収多いな
隈田：え？

KP：本当だ、2倍近くある
帝坂：23にもなつて、まだアルバイトみたいですか？

隈田：え、ええ？

PL4：まー、今からだもんな

夢華：早く就職して私を楽させてよね

隈田：が、がんばります

東雲：私立探偵にでもなるなら投資してやってもいいがな

東雲・優斗（シノノメ・ユウト） 性別：男 年齢：26歳

職業：医者 母国語：日本語

STR：7 DEX：18 INT：18 アイデア：90

CON：11 APP：10 POW：10 幸運：50

SIZ：10 SAN：50／99 EDU：21 知識：

99

HP：11／11 MP：10 db：±0

〔技能〕

医学：99% 信用：99%

他の言語（英語）：65% 生物学：90%

薬学：90% 図書館：99%

水泳：65% 精神分析：67%

〔所持品〕

・スマホ、緊急医療用具入り鞆、白衣、ティッシュ

年収2000万 財産1億

KP：もう一人いましたね、高スペック

隈田：ヒーラーとしては最強だね

帝坂：財布としても最強ですな

東雲：金家に置いとくか

KP：今回のシナリオは、クトゥルフカルトナウの「血は海の水より濃くて」

を使用します。ネタバレ等があるのでそれが嫌な方はここできようならです。

KP：晴れ晴れと澄み渡った青空の下。貴方達はワダツミ興業が手配した

漁船に乗り込んでいました。その漁船は鱸島へと向かうことになっていきます。

KP：鱸島では、海岸線は険しい崖で島の中央部に森があり、純和風の建物が見えます。

KP：その建物は、通称、鱸来宮と呼ばれています。探索者たちはそこで起こる祭りに参加することになります。

KP：その理由は、ただの旅行かも知れませんが、独立起業を果たすためかもしれません

帝坂：隈田さんは100%独立起業でしょうね
隈田：が、がんばりまーす

夢華：私はそれにくっついてきた感じかしら
東雲：俺は普通に旅行かな。優雅に孤島でコーヒでも啜ったりして

帝坂：いいですね成金は

KP：兎に角、今その漁船に乗り込んでいます。RPをお願いします

帝坂：CON×5 75%↓93失敗
KP：これ何のロールです？

帝坂：セルフゲロールですけど？
隈田：何やってんの!?

帝坂「オロロロロロロロロロロロ……」
東雲「全く、これだから船慣れしていない一般庶民は……」

東雲：CON×5 55%↓99ファンブル
東雲「うおええええええええええ」

隈田：コントやってんじやねえんだぞ！
帝坂：ちなみに甲板にぶちまけています

隈田：きつたな！

隈田「だ、大丈夫ですか？」

帝坂「大丈夫なわゲロロロロ」

隈田「うわあ汚い！」

東雲「うつぶ、酔い止め酔い止め……オロロロロロ」

夢華「お願いだからこつちに近づかないでね

帝坂「近づこつかなー

東雲「近づいちゃおつかなー

夢華「良平

隈田「武道パンチで

帝坂「待つて待つて待つて、それは洒落にならないので

KP「何で自己紹介じゃなくてPVPが始まるんです

帝坂「おええ、えつとロロロロ、ここで会ったのも何かの縁です
し、

皆さんで自己紹介でもロロロロ」

隈田「喋るか吐くかどつちかにしてください！」

東雲「俺は東雲・優斗。医者をさせてもらっている」

夢華「おつ、まともな自己紹i……

東雲「ゲエエエエエエオエエエエエエ」

隈田「二割増しで吐いてきたー!!

隈田「うう、隈田・良平です。宜しくお願いします」

帝坂「おやおやあ？職業を教えてくださいおりませんねえ」

隈田「え？いやいやいや

帝坂「どうしたんですかあ？何か言えない理由でもお、あるんです
かあ？」

隈田（うぜえええええ!!）

夢華「フリーターをしているわ。私立探偵になりたいんですって」

隈田「ちよつと!?!」

帝坂「へええ、フリーターなんですかあ」

東雲「……つぶ」

隈田「聞こえてますよ、東雲さん」

帝坂「んで、そのちつこいのほ？」

夢華「誰がちっこいのよ！私は、隈田・夢華。女優よ」

帝坂「んん？聞いたことないですけど」

東雲「俺はそもそもテレビ見ないからな」

夢華「ま、別に知ってもらわなくてもかまわないけど」

帝坂「僕は帝坂・王魔。ホームレスです」

隈田「僕未満じゃないか!!」

帝坂「失礼な、貴方より年収ありますよ」

夢華「何であるのよ」

帝坂「ちよつとまだ昔の仕事を……」

隈田「犯罪臭がするんだけど」

KP：あと貴方達のRPが濃ゆすぎるので忘れていましたが、

その船に乗っているのは貴方達だけではありません。

歌音「ゆ、百合野・歌音（ユリノ・カオン）、20歳、学生です」

KP：と、ふたりに若干引き気味で自己紹介を行いました

帝坂&東雲：言われてるぞ、探偵組

良平&夢華：あんた等だよ、SANO組

帝坂：KP、ぜひそのご令嬢のAPPをお教え願いますか？

KP：丁寧な言い方してますけど、美人かって聞いてるんですよ。

……15ですネ

東雲：良平よりちよつとブスぐらいかな

隈田：あれ？僕そんな高かたっけ

夢華：何で把握してないのよ

陸夫「あ、え、倉重・陸夫（クラシゲ・リクオ）です」

帝坂：次

隈田：扱いの差が酷いね

東雲：驚異の性別格差ってな

夢華：KP、APPは？

KP：8です

夢華：OK、死んでよし

隈田：酷すぎるでしょ

松枝「末岡・松枝（スエオカ・マツエ）です……」

KP：とドン引きしています

帝坂：KP、

KP：だいたい5ぐらいです

隈田：もう言わなくても分かるようになってちやっただよ

帝坂：だいたい5？

KP：だいたい5です

帝坂：へえ

KP：時間が飛んで船着き場。鱸島に着くと、真っ黒に日焼けした老人が

出迎えてくれます。

常吉「お待ちしておりました。私は下瀬・常吉（シモセ・ツネキチ）。

これから一日、宜しくお願いいたします」

帝坂「宜しくしたいのは山々なのですが……幾分体調が優れないもので、

すぐにでも休みたいのですが……」

常吉「おや、それは大変だ。荷物は私が持ちましょう」

東雲「あ、俺もお願いね。すげー吐き気がするから」

隈田「さつきからゲロゲロ吐いてましたね」

帝坂：つーわけで他の人たちより早く僕は行けるわけですよ

KP：ま、まさかこれを狙ってゲロールを？

帝坂：いいえ？

KP：この野郎

帝坂：KP、偶然皆さんが常吉さんを足止めしてくれる幸運ってありますか？

KP：……マイナス30%でどうぞ

帝坂：幸運75→30%↓09スペシャル

KP：なん で や

帝坂：成功どころかスペシャルなので東雲さんも成功でいいですよ
ね？

KP：……補正を消しますので、ロールはしてください

帝坂：だって

東雲：ケチだな

東雲：幸運50%↓91失敗

東雲：おっと

帝坂：おい、せっかくのスペシャルが

KP：まあ、スペシャルなので、帝坂さんだけ皆より先に行けたこととします

東雲：俺は？

KP：吐いててください

東雲「オロロロロロ」

KP：鱻来宮は、島の中央にある古い純和風の建物である。

平屋の様にはあるが、急角度の屋根が付いていて、

どことなく神社の拝殿を思わせる。

帝坂「おっじやましーす」

帝坂：とは言わず、普通に入ります

KP：その玄関はとても立派なものでした。歴史振ってください

帝坂：歴史20%↓56失敗

帝坂：まあ分かんないですね

KP：玄関の先には扉があるんですが……

帝坂：開けます。後忍び歩きをその部屋その部屋で

帝坂：忍び歩き84%↓27成功

KP：まるで泥棒の様だ。

KP：ここは上の間。まあ特に何もありませんね。

右と正面に扉がありますが

帝坂：んー

帝坂：どちらにしようかな 1D2↓1右

帝坂：忍び歩き84%↓20成功

KP：ここは次の間。特に何もありません。同じく右と正面

帝坂：あ、下瀬ご一行の足音とか他の音とか聞こえませんか？

KP：聞き耳で

帝坂：聞き耳75%↓88失敗

帝坂：……んー、あとどれぐらいで来ます？

KP：なんであなたはそんなにここを調べたがってるんです？
帝坂：まあそのうち分かりますよ。さて……

KP：あそうそう、真正面の部屋ではこの和風の部屋とはかけ離れた
た

洋風の重厚な扉があります

帝坂：ふふふ、KP、そんな見え透いた罠にかかるとでも？

KP：行かないんですか？

帝坂：イクゾー！デッデッデデデ！（ツカーン！）

帝坂：忍び歩き84%↓74成功

KP：（シークレットダイス）

KP：その部屋の中は扉同様、洋風の出で立ちをしており仕切りで
はなく

土壁で作られ、窓にはカーテンがかかっています

帝坂：KP、金目のものはありますか？

KP：それが目的かよ！

帝坂：PC的にはそうですね。PL的には邪魔されずに探索できる
からですが

帝坂：目星80%↓37成功

KP：え？じゃあ……かなりパンパンにつまった財布を見つけまし
た

帝坂「お、やったあ」

帝坂：ここにも特に情報は？

KP：……そうですね、鱗を見つけます

帝坂「鱗？」

帝坂：後から東雲さんに調べさせますか。窓から外に出ます

KP：じゃあここでシーンを切ります。あー疲れた全く

帝坂：あんまり情報にありつけませんでしたねー

帝坂：隠す15%↓84失敗

KP：鱧来宮の前まで来ると、下瀬さんは貴方達にこの立派な

玄関の前で待つよう言います。ここで全員歴史を振ってください

い

隈田：歴史20%↓83失敗

夢華：歴史20%↓50失敗

東雲：歴史20%↓00ファンブル

東雲：俺なんかした？

夢華：船上で吐いた

隈田：その時もファンぶってたよね

KP：転んで頭でも打っててください

東雲「ぐほあッ!?」HP 11 | 1 || 10

隈田「大丈夫ですか？」

東雲「ああまったく、ここ最近は運が無いな」

東雲：医学99%↓01クリティカル

KP：は？

東雲：お祓い行こうかなと思ったが、やっぱりいらしい

隈田：まーたKPの仕事増やす

東雲：ダイスの女神に言ってくれ

KP：……次の技能に+20の補正を進呈します

夢華：KPの顔が凄いいことになってる……

隈田：帝坂のRPと東雲のダイス運が合わさって最凶に見える

東雲：ダイス運は俺のせいじゃないから別にいいな HP 10 + 1

|| 1 1

KP：下瀬さんはわざわざ土間の方から上がっていきますね。

やがて玄関の扉……あ、開いてる

東雲：あいつ閉めていかなかったのかよ

下瀬「何故開いているんだ？」

夢華「泥棒でも入ったんじゃない？」

下瀬「泥棒も何も我々以外には……」

帝坂「あ、やーっと追いつきましたよ皆さん」

隈田：あ

夢華：何でこんな状況で出てくるのよ

帝坂：大丈夫ですよ、財布だつてそこら辺の土に刺してきましたか

ら

隈田：隠すってなんだろうね

帝坂「いやー、先に鱧来宮に休みに行くはずだったのが迷ってしま
いまして」

帝坂：言いくるめ95%↓56成功

下瀬「そうでしたか、大変でしたね」

帝坂「ええそれはもロロロロ」

隈田「うわあ！」

夢華「誰かガムテープ持ってきて。こいつの口をふさぐから」

東雲：医学99%↓69成功

東雲：これで治ったろ

帝坂：ちえー

東雲：カンストしてるから補正はつけようがないから次だな

KP：折角の1クリをこんなところでは消せませんよ

下瀬「皆さま揃ったところで、この鱧島は元より神様のもので、

この鱧来宮はそんな神様の土地を間借りさせて

いただいているものです」

下瀬「ですので、お客様はまず神前に挨拶する必要がありますのです。

まずは式台から上の間に上がり、その上の深の間に入って貰
います」

KP：と神妙な面持ちで告げるでしょう

下瀬「ただし、深の間に入ったら絶対に喋らないようお願いしま
す」

帝坂「緊張感で吐きそう」

東雲「ウサギかお前は」

KP：深の間に入ると、白衣のお世辞にも美男子とは思えないよう
な

醜い小男が正座していました

KP：立派な神床がつけられた部屋で、その神床の中央に30cm
ほどの

円筒形の壺でふたがしてある。一見すると骨壺です

KP：下には年代物の絨毯が敷かれています

帝坂：この部屋に対して目星

隈田：あ、僕も

帝坂：目星80%↓17成功

隈田：目星95%↓46成功

KP：二人は、天井に雲という文字と雲の姿が浮き彫りになった飾りが

はめ込まれていることに気づきます

帝坂：これあれですよ、上に階があるとき神様に失礼にならないように

雲と書いてここが一番上だって神様を騙す奴ですよ

東雲：言い方は悪いがそうだな。KP、ここ平屋だよな？

KP：そうですね。ここは平屋です

帝坂「あの、ここ平屋ですよ？何で雲と」

下瀬「私語厳禁でお願いします」

帝坂：(・ω・)

KP：貴方達は座っているだけでいいのです。ルーニープレイもしなくていいのです。

下瀬さんは神床に供物を供えたりだとか、

神様にぼそぼそ声で客人が来たことを報告しています

帝坂：途中私怨入ってましたが

KP：気のせいです。その間小男はずっとニヤニヤした顔で見つめてきますね

帝坂：そいつに心理学良いですか？いったい何を考えているのか

KP：許可しましょう

KP：心理学95%↓??

KP：彼は君たち客人と会えたことが嬉しくてにやついていることが解りますね

帝坂：あれ、成功なのかな？ファンブルなのかな？

東雲：俺じゃないんだし、ファンブルなんてするか？

隈田：ファンブラーだってことは自覚してんだね

K P (してんだよなあ) 出目99

帝坂：ま、あんまり信用はしませんがね。骨壺に目星

K P (骨壺じゃ) ないです。どうぞ

帝坂：目星80%↓98ファンブル

K P ……足がしびれて10分ぐらいDEX半分で

東雲：ファンブラーの称号いるか？

帝坂：結構です！絨毯に目星

帝坂：目星80%↓51成功

K P :その絨毯には巧妙に見たことのない模様が組み込まれていました

帝坂：見たことのない模様？

K P :ええ。さて……

K P :松岡さんが足をももぞし始めました

帝坂：誰だっけ？

隈田：もう忘れたの？APPだいたい5の人だよ

帝坂：ああ、あのすぐ死ぬ人

夢華：すぐ死ぬ？

東雲：APP『だいたい』だから、はっきり決められていないってことは

よつぽどのモブか即退場するかのどっちかだろ。

しかし、船に乗ってて名前まであるからな

帝坂：要約『メタ読み』

東雲：うんまあ……そうだな

K P :その後突然、だいたい5の人が苦しそうに悶え始めました。
そして

松岡「ギョーッ、ギユッ、ギユギョー！」

K P :と奇声を上げます。その異様な姿に0/1のSANチエツク
です

帝坂：SAN75%↓70成功

隈田：SAN75%↓75成功

夢華：SAN50%↓74失敗

東雲：S A N 5 0 % ↓ 0 3 クリテイカル

K P：振り幅

帝坂：さつきから無駄クリしかしてない

隈田：茶番ではファンブルしかないけど

K P：すると、その小男が素早く松岡に近づき、

四宮「これは大変だ。私は四宮・波照（シミヤ・ハテル）、ワダツミ
興業の

専属の医者です」

K P：と、彼は手慣れた様子で診察し、神前での軽度のヒステリー
と診断し、

いきなり薬を注射します

東雲：それホントにヒステリーか？医学で

東雲：医学 9 9 % ↓ 0 8 スペシャル

K P：せっかくのスペシャルですが、全く分かりません。

少なくとも現代医学の常識では

東雲：なあーるほど

K P：その後四宮は下瀬さんに命じて末岡さんを部屋に連れて行く
うとします

しかし探索者たちにはここで待つよう強要します

帝坂：ということは今ここには僕を止める者は誰もいないというこ
とですね？

K P：貴方は足がしびれて動けません

帝坂「ねえ皆さ……」

下瀬（私語厳禁でお願いします）

帝坂（コイツ直接俺の脳内に……！）

東雲（ファミチキください）

隈田（やると思ったよ）

夢華（K P、はよ進めて）

K P（はい）

K P：えーつと何処まで行っただけ

隈田：末岡さんが奇声を発した後だね

KP：ああそうだった。下瀬さんが20分後ぐらいで戻ってきて解放されます

帝坂「ああ、足が……足がやばい……」

東雲「さあみんないこいこー」

隈田&夢華「はーい」

帝坂「お前らああ!!」

倉重「大丈夫ですか？」

KP：と手を伸ばしてくれませ

帝坂：美少女の方ではなく？

KP：おっさんの方ですね

帝坂「あーりがとごさいまーす」（―――）」

KP：顔が明らかに不満じゃないか

帝坂：APP8のおっさんに助けられて喜ぶ探索者がどこにいるっ
ていうんです？

KP：まあそうだけど

KP：神前のあいさつを終えると、末岡さん以外の全員は鱻来宮の裏手へ連れていかれ、島の反対側へと続く石畳に案内されます

KP：全員アイデアどうぞ

帝坂：アイデア90%↓73成功

隈田：アイデア60%↓79失敗

夢華：アイデア40%↓05クリティカル

東雲：アイデア90%↓50成功

KP：なんで？

帝坂：全員で振ると誰か一人はクリリますよね

KP：クリらねえんだよ普通はな！

夢華：はよ情報吐け

KP：あーこの石畳の突き当り変だなー

東雲：KPに精神分析

KP：待って！余計な仕事増えるからやめて！

東雲：精神分析67%↓95失敗

KP：……

東雲：なんで俺はファンブらねえんだろうなあ

KP：取りあえず東雲は小指ぶつけとけ

東雲：いやどす

KP：死ぬ。石畳は家に突き当たりにびたりと止まっていることに違和感を覚えます

後、石畳の隣にある部屋の裏手にはガラス戸がありますね

帝坂：KPのヘイトが僕以上になってて草

夢華：で？クリ効果は？

KP：この突き当りの上あたりに上に行けそうなところを見つけます

東雲：上上言っててよくわかんないな

下瀬（私語厳禁でお願いします）

東雲（コイツ直接（ry））

KP：進めますよ。石畳を歩いてみると、島の断崖に着きます

帝坂：飛び降りろってことですかね

東雲：KPはそう言いたいだろうな

KP：飛び降りてもいいんですよ？

帝坂：じゃあ飛び降ります。何ダメージですか？

KP：は？え？……10D6で

隈田：30mって、待て待て待て！

帝坂：跳躍25%↓01クリティカル

隈田：やっぱ止めなくてよかったかも

KP：なんでそういう出目だすん？

夢華：wwwwww

KP：……もうダメージ無しでいいです

KP：帝坂さんは助走をつけると、止める暇もなく崖の下へと飛び降りました

隈田「何やってのあの人!？」

夢華「挙動がおかしいとは思ってたけど……」

東雲「自殺志願者だったとはな」

帝坂：なお、ぴんぴんしている模様

KP：これは後からSANチェックですね

帝坂：僕はどうなるんでしょうか

KP：んー、海にドボンで。とすると……、帝坂さんは人影を見ます

帝坂：人影？海の中なのに？

KP：ええ。薄ボンヤリとですが、その人影には……鱗がありました

帝坂「ぶっ!？」

KP：ご想像通りのSANチェックです。成功で0、失敗で1D3
です

帝坂：SAN75%↓94失敗 1D3↓2 SAN75―2||7

3

帝坂：鱗……東雲に調べてもらわなくてもよくなりましたね。KP

KP：はい何でしょう

帝坂：この島の裏側から船着き場まで泳ぎます

KP：島を半周するということですね、まずは水泳を振れ。話はそれからだ

帝坂：水泳25%↓77失敗

KP：ハーツハツハツハツハ!!

隈田：KPが心底嬉しそうな顔してる……

KP：幸運で振って、成功したら溺れずに上がったことにしましょう

帝坂：幸運75%↓25成功

帝坂：ああよかった。で、今どこです？

KP：鱧来宮の近くってことで。シーン切ります

下瀬「……」

KP：で、どう進めろと？

東雲：いいんじゃないやねえの？普通に進めて

隈田：お前はサイコパスかよ

夢華：あいつのキチ○イ行為に気を取られてたら話が進まないわ

よ。

無視無視

下瀬「人が一人飛び降り自殺してしまいました、
みそぎの儀の説明をさせてもらいます」

東雲「あ、あんた話せたのか」

隈田「確かに途中テレパシー使ってたけどさあ……」

夢華「最初辺りで喋ってたでしょ」

歌音「テレパシー？」

倉重「何を言っているんですか？」

一同「二いえいえこつちの話ですうー」

KP：みそぎの儀は、階段を下った先の海に入り、

裸で体を清めなければいけないとのこと

夢華：は？

東雲：おいおいおいおい、死んだわあいつ

隈田：冗談でも夢華に下ネタは振っちゃいけないからね

夢華：拳50%↓81失敗

KP：殴りかかりますが、虚しく空を切ります。つかちよつと待て

！

女性だけで入れればいいでしょう！

夢華：……覗いたら殺すわよ

東雲：ヒエ

夢華「いいこと？男ども。ちらりとでも私の目に入ったら、血祭り
にあげてやる」

東雲「小学生が何言ってるやがる」

隈田「誰も見ないよ。そんな人いないって」

夢華「私みたいな貧乳ペちやばいを見るもの好きはいないですって
？」

隈田「どういったら納得してくれるの？」

KP：まあとにかく、階段を下っていくと、海の中まで伸びる階段
を目にします

そして、夢華が海面に目を移した、その時。

KP：それは最初、海草が浮いているのかと錯覚した。しかし、違う。

それは頭だった。

KP：見つかったことを察すると、

その頭の主はそれを察したかのように、海に潜っていきました

KP：そしてその瞬間、ちらりと、夢華さんには、鱗がある様に見えました

KP：0 / 1D3のSANチェックです

夢華：SAN 49% ↓ 69 失敗 1D3 ↓ 2 SAN 49 | 2 || 4

7

KP：あ、あとどうせ全員することになるので振ってください

隈田：雑だなあ

東雲：SAN 50% ↓ 14 成功

隈田：SAN 75% ↓ 20 成功

KP：そして、鱧来宮に到着します

夢華「全く何なのよここは」

隈田「まあまあ、確かに人死には出たけど……」

東雲「そーいや死体が無かったよな」

帝坂「ええ、不思議ですね」

東雲「ほーんと不思議……」

帝坂以外「!？」

隈田：SAN 75% ↓ 68 成功

夢華：SAN 47% ↓ 17 成功

東雲：SAN 50% ↓ 44 成功

歌音：SAN 55% ↓ 14 成功

倉重：SAN 35% ↓ 33 成功

KP：APP 18のプレイヤーを見てSANチェックするのはうちだけでしょね

夢華「え？何で？崖から飛び降りたのに……」

帝坂「僕の圧倒的跳躍スキルによって、飛び降りた衝撃など無に帰しました」

隈田「何言ってるのかよくわからないですけど」

帝坂「まあそんなことはどうでもいい。重要なことじゃあない。

下瀬さん、此方のお宅、もとい鱒来宮ですが、平屋のはずなのに

『雲』と書かれた文字」

下瀬「それが？」

帝坂「これは、神棚の上に階があるとき、神様に失礼にならないよう、

雲と書いて神様を騙すために書かれるわけです。

これは上に階があることになります。何故ですか？」

下瀬「さあ……昔からあるものなので……」

帝坂：心理学で

KP：心理学95%↓??

KP：本当に分からないようです

帝坂：あれ？じゃあコイツ関与してないのか？

夢華：そんなことある？

帝坂：んー、あんまり心理学を振ってもどれがホントか分からなくなるので、

この結果を信じましょう

夢華「つていうか、私も見たわよ。

石畳の突き当りに入り口っぽいものがあっただけ」

下瀬「気のせいでは？」

夢華「そうかなあ？」

KP：みそぎの儀も神前へのあいさつも済んだので、下瀬さんが

お風呂を焚いています

KP：歌音さんと倉重さんは疲れたというように客間でペットボトルを飲みながら

雑談しています

帝坂「皆さん、どういった理由で此処に来たんですか？」

隈田「え、何ですか急に」

帝坂「あ、話したくないならいいですよ？フリーターさん」

隈田「自分の会社を立ち上げようと思ひまして、融資先のワダツミ興業さんから

ここで祭りのお手伝いを頼まりました」

夢華「んで、私がそれにくつついてきたの」

帝坂「へー、次」

隈田「自分から訊いて興味なしかよ！」

歌音「でもすごいですよね、会社を立ち上げるなんて」

倉重「ええ、しかもまだそんなにお若いのに」

隈田「え、そ、そうですか？」

帝坂「ちなみに何の会社で？」

隈田「探偵です。探偵事務所」

歌音「た、探偵」

東雲「何にせよ、脱フリーター目指して精進中ってことだろ」

隈田「ま、まあそうです」

帝坂「今度はお医者様の経緯をお聞かせいただきましょうか？」

東雲「えー、メンドクさ。旅行だよ。ただの旅行」

帝坂「お、僕と同じですね」

東雲「ホームレスにそんな余裕があるのか？」

帝坂「前にも言いましたが、僕はそのフリーターよりお金持ってますよ」

隈田「一々僕を引き合いに出すのやめてもらえる？」

帝坂「ま、それはそうとして、お嬢さん。貴女は？」

歌音「私は、ワダツミ興業のトップ、沼田家に

昔私の親がお世話になったので、その恩返しというわけです」

帝坂「ほう！沼田家の方とご面識がある？」

歌音「いえ、私自身はないんです」

帝坂「チツ」

歌音「チツ!？」

帝坂「いいえ何でも。倉重さんは？」

倉重「私は、ワダツミ興業の職員です」

帝坂「ああ、そうなんですか。へー」

帝坂：こいつも敵側と認識しておきますか

隈田：何と戦ってるの

帝坂「東雲さん東雲さん。ちよつといいですか?」

東雲「あ?んだよ」

帝坂「気になりませんか?あのちっこいのが見た秘密の抜け道と
か、

雲とか」

東雲「まあ、気にはなるな」

帝坂「というわけで……」

帝坂：ゴニョゴニョゴニョゴニョゴニョ

東雲：フムフムフムフム。成程、いいかもな。

俺がそこに行けりやあ一石二鳥だし

KP：?何かあるなら私に相談してくださいよ

帝坂：ああ、別に大したことはありません。大丈夫です

KP：そう……いややっぱダメです。教えてください

帝坂：えー、おんなじこともつかい言うのメンドクサイ……

KP：ゴニョゴニョしか言っただけじゃないですか

帝坂：東雲さん

東雲：ゴニョゴニョゴニョゴニョゴニョ

KP：フムフムフムフム。なるほどなるほど。展開が速く
なりますけど

まあいいんじゃないですか?私の負担が増えますけど

帝坂：じゃあ無問題ですね

KP：ねえ?負担が増えるんですよ?

帝坂：僕の負担が増えるわけじゃないので大丈夫です

KP：この野郎

隈田：僕達は全く訊いてないんだけど?

帝坂：ああ、後から出番来るから大丈夫です

東雲「じゃ、風呂入って来るか」

帝坂「いつてらっしゃーい」

夢華「早く上がってよ。私たちも入りたいたんだから」

東雲「お前は俺の嫁かなんかかよ。ガキのくせによ」

夢華「ガキって何よ!」

隈田「まあまあまあ」

東雲「髪と体を洗って、風呂には入らず待機しておく」

KP「了解です。それから、お風呂を焚き終わった下瀬さんがやってきました」

下瀬「おや? 東雲さんは?」

帝坂「お風呂に入りに行ってしまった」

下瀬「そうでしたか。今からする話はとても重要なことなので、

後から伝えておいてください」

下瀬「この中間の隣にある次の間の前にある部屋には入らないでいただきたい」

帝坂「……」

隈田「もう入っちゃってるよね」

帝坂「何故入ってはいけないのですか?」

下瀬「危険なものがしまっているからです」

帝坂「心理学で」

KP「心理学95%↓??」

KP「嘘だと分かります」

隈田「シンプルだね」

帝坂「了解しました。近寄らないようにしますね」

〈20分後〉

帝坂「彼が行ってから20分後ぐらいに、

帝坂「なんか遅いですねえ。真っ先に入りやがったし、

鴉とはえらい違いだ」

東雲「団長が死にそう」

KP「ライドオ!

帝坂「俺は止まんねえからよ……」

夢華「進めろ」

帝坂「僕ちよつと声掛けてきます」

帝坂「一応何回か呼びかけます」

東雲「それを聞くと、風呂に身体全体を入れて、目をつむり、少し水を飲む。」

帝坂「んで、扉を開けます」

帝坂「だ、大丈夫ですか!？」

帝坂「と言つて、起こして風呂から叩きだします。」

帝坂「そして、下瀬さんと呼んできます」

下瀬「た、大変だ。風呂で居眠りでもしてしまつたのか……」

四宮さんと呼んできます」

帝坂「いや、呼んでもこんなところに置いていくわけにもいく訳にも
も

いきませんし、運びましょう」

帝坂「言いくるめ95%↓01クリティカル」

KP「なんでそういう出目ばかり出すんですかねえ？」

帝坂「女神に言つてくれませんかねえ？」

KP「では、後から運んで行ったときに下瀬さんは四宮さんに

色々時間を取られることとします」

帝坂&下瀬「STRvsSIZ 自動成功」

夢華「はあ？浴槽で寝てたの？馬鹿じゃないの？」

帝坂「隈田さん、子供が可愛いのは分かりますが、

甘やかすのはよくないと思いますよ」

隈田「そうだね、今度からもっと厳しめに躾けしないとね」

夢華「え？な、何よそれ。私が礼儀知らずみたいじゃない!」

帝坂「おおよかった、まだ自覚症状がある分軽度のようなですね」

夢華「おい!」

帝坂「次、誰が入りますか？」

歌音「人が溺れたお風呂に入るのは……」

帝坂「でも、入らなければ臭つてしまいますよ。特に、倉重さん。
重労働をした後で、汗をかいているんですね」

帝坂：言いくるめ95%↓25成功

倉重「に、臭います?」

帝坂「ええ、とても」

倉重「行つてきます!」

夢華「サイテー」

帝坂「ああいうときに指摘しない方が失礼です。ちびっ子、確か貴女、

隠し通路的なものを見つけたといっていましたね」

夢華「え?ええ」

帝坂「気になりませんか?天井に掲げられた『雲』とか、抜け道とか、

これが何を指し示しているか?」

夢華「上があるって言いたいんでしょ?」

帝坂「ハイ正解。てなわけで!みんなで調べてみませんか?」

帝坂：一応この場からワダツミ興業の人間を排除しておきました
が、

歌音さんも言いくるめなきやいけませんか?

KP：あー、んー、いいんじゃないですかね

帝坂「つーわけで、石畳の突き当りの場所へレッツゴーです!」

KP：石畳に着きました

帝坂：どこにあるか分かりますか?

KP：目星なら分かりますね

帝坂：目星80%↓94失敗

隈田：目星95%↓04クリティカル

夢華：目星25%↓48失敗

KP：貴方もか

隈田：こればかりは時の運ですし……

KP：隈田さんは、その抜け道を見つけることができました。

あと、近くに大金の入ったお財布を見つめます

隈田「あ、何これ」

帝坂「あつ!」

隈田「え？」

帝坂「いや、何でも……とにかく！見つけたわけですし、行ってみましょう！」

隈田「？」

帝坂：隈田さんに押し上げてもらいましょか

KP：その場合、帝坂さんのSIZと隈田さんのSTR対抗ですね

隈田：STR vs SIZ 65%↓45成功

帝坂：んで、隈田さんを引き上げます

帝坂：STR vs SIZ 60%↓22成功

隈田：で夢華を引き上げると

隈田：STR vs SIZ 65%↓20成功

帝坂：最後に歌音さんを

帝坂&隈田：STR vs SIZ 自動成功

歌音「まさか本当にこんなところがあるなんて……」

帝坂「いやー、ビックリですねえ。あっははは」

隈田「全く驚いているようには見えないんだけど」

KP：ああ、予定よりイベント一つ早く来てしまった

帝坂：これが運命力です

KP：はあ……その屋根裏部屋の床は、やたらがっしりしていて防音と

なっています

KP：その床には銀色に輝くトレイが並べられ、包帯やメスなどの医療器具が

雑多に置かれています。屋根の部分には古びた絵が描かれています

大体80年前ぐらいに描かれたものですね

KP：暗い色調でさまざまな魚や海底の様子が不気味に描かれています

KP：そして、その上に診療記録らしきものが誇らしげに掲げられています

帝坂：ほお、読んでみましょう

KP：アイデアで振ってください

帝坂：アイデア90%↓73成功

KP：うろこ状の皮膚を治療しようとしていたことが解ります。

それはどことなく人体実験を彷彿とさせます

KP：1/1D3+1のSANチェックです

帝坂：SAN73%↓47成功

帝坂「……成程、あんまり関わりが薄かったのですが、

あの四宮とかいう医者、かなりヤバめですね」

夢華「何してたの？まさか人体実験とか？」

帝坂「勘がいいですねえ。また正解です」

隈田「え？うそでしょ？」

KP：と、ここで奥からジャラ…ジャラ…という音が聞こえてきました

帝坂：ざわ…ざわ…

隈田：カイジネタやめい

KP：奥へと向かいますか？

帝坂：行け隈田！たいあたり！

隈田：僕はポケモンじゃないよ。

隈田「皆さんはここで待っていて下さい。僕が行くので」

歌音「大丈夫なんですか？」

帝坂「ま、いいんじゃないですかね。彼、結構ガタイもいいですし」

KP：はい。奥には人が居ました。両手両足に枷がつけられ、

口枷までされています

KP：背中に四角く変色した場所があります。

しかしここまでの描写はそんなことはどうでもいい。重要なことじゃない

隈田：え？重要じゃないの？

KP：四肢と背中の皮膚はうろこ状でぬらぬらとした光沢を放ち

その顔は確かに人間のものではあるのですが、歪んでいて

両目が離れ、ギョロリと大きく飛び出しています

帝坂：魚ロリ？

隈田：業が深すぎるでしょ

KP：鼻が低く、首回りが肥大化し余った肉が垂れています。

その眼球は飛び出ているために瞬きができないようです

KP：充血した目からは常に涙が流れ出しています。

これを見た貴方は1/1D6+1のSANチェックです

隈田：SAN74%↓57成功

隈田「ひっ」

帝坂：あ、僕もやっぱりそこに行きます

KP：SANチェックどうぞ

帝坂：SAN72%↓22成功

帝坂「おやおや。これはこれは」

隈田「あの、これどうしましょうか」

帝坂「……」

???「助けてくれ：お願いだ：」

帝坂：人体実験が確定しました。これは東雲さんちよつとヤバいところ

送っちゃいましたね

隈田：化け物になって襲い掛かってきたりしないよね

夢華：さすがにまだそんなことはしないとは思うけどね。

イベント一つ分早く来たとか言ってたし

帝坂「拘束を解いても我々に危害を加えませんね？」

???「ああ：助けてくれ！」

帝坂：心理学で

KP：心理学95%↓??

KP：そうですね、彼の無茶苦茶な表情から、

彼は狂気に陥っているのではないかと思えます

帝坂：要するに狂っているから心理学は通用しませんと。

……1%ですが精神分析を振ってみますか

帝坂：精神分析1%↓92失敗

帝坂：ですすよね。取りあえずコイツは放置ということ。写真を撮ります

KP：暗いので、写真術を振ってください

帝坂「ハイ笑って笑ってー」

帝坂：写真術10%↓35失敗

隈田：じゃあ僕も

隈田：写真術10%↓99フアンブル

KP：携帯電話が故障します

帝坂：爆発しなかったただけ温情ですね

帝坂「後から東雲先生を連れてくるとして、この証拠の診療記録を持ち帰りましょうか。ああ、あと、勿論このことはご内密に。特に四宮、下瀬、それと倉重さんには特に」

隈田「わ、分かりました」

帝坂：夢華ちゃんと合流します

歌音「どうでした？」

帝坂「どうやらあの音はここに迷い込んでいた鴉がチェーン付きのストラップ

を引き摺っていた音だったようです」

帝坂：言いくるめ95%↓33成功

歌音「そ、そうだったんですか」

夢華「何だ…よかった」

KP：皆さんが降りて、客間に戻ると、下瀬さんが帝坂さんを探していました

帝坂：お、何でしょう

KP：はい、ここは四宮さんがいる診療室です

東雲：起きる

四宮「おお、起きましたか」

東雲「ああ…：心配かけて悪かったな」

東雲：末岡はいるか？

KP：いますね。毛布が掛けられています

東雲「なあ四宮さん。こいつはいつ頃起きるんだ？」

四宮「今は薬のせいで眠っていますが、朝あるには目を覚ますで

しょう」

東雲：大人しくさせるためだけに何打ったんだよ

KP：ちなみに、この部屋には見慣れない器具が……

いや、医者なら見慣れているかもしれないね。医学で振ってください

東雲：医学99%↓37成功

KP：血液などを調べる最新鋭の器具ということが解りました

東雲：もう一つ、何故こんな機械が？なんのために？」

四宮「……聞いてどうなさるおつもりですか？」

東雲：もうKPが隠さなくなってきたな

東雲「いや。だが、答えてくれたっていいだろう？」

やましい事をしてるわけじゃないんだし」

四宮「……治療ですよ。皮膚の遺伝子疾患の患者を治療するために研究をしています」

東雲：帝坂が居ればな。心理学

KP：心理学5%↓??

KP：四宮さんはすごいなあと思いました

東雲：OK、だと思ってたぜ

東雲「四宮さん、帝坂を呼んできてくれないか？俺も自分で行きたいのだが、

まだ体調が優れないんでな」

東雲：信用99%↓31成功

四宮「分かりました。少し待っていてください」

東雲：鬼の居ぬ間に何とやらってね。書類っぽいのを探す

KP：図書館を2回ロールしてください

東雲：図書館99%↓03クリティカル、06スペシャル

KP：こんなことあります？

東雲：情報Please、KP

KP：無駄にネイティブなのがむかつく。まず一回目の図書館で

あの人は本当に遺伝子疾患を治療していたようです

東雲：お、マジでいい人だったのか

KP：しかし、重要な資料がなくなっているだけでなく、クリティカル効果により

末岡さんにその遺伝子疾患を推進させる薬物をぶち込んだと書かれた

作りかけの資料を発見しました

東雲：今ので俺の中の四宮株が0に落ちたぞ

KP：二回目の図書館では、『燃える瞳を持つ印の効用について』という

レポートのファイルを発見します。内容としては、この特異な遺伝子疾患を

患った人間は燃える瞳を持つ印に対し酷い拒絶反応を引き起こすらしいです

KP：そしてこの効果を利用し、遺伝子疾患の患者を判別することができます。

ただ、四宮さんは医者である自分がこのような非科学的なものには頼るのはどうか、

と疑問を持っているようです

KP：スペシャルとして、この印どこかで見たような気がします

東雲：アイデアを振る

KP：どうぞどうぞ

東雲：アイデア90%↓67成功

KP：深の間のペルシャ絨毯ですね

東雲：なるほど

KP：??%↓??

東雲：ん？

KP：それでは、そのレポートを読み終わり、今まさに書類を片付けようとしたところに四宮さんが来ます

東雲：え？もうか？

KP：ちなみにその隣に帝坂さんはいません

東雲「帝坂を呼んできてもらいたかったんだが」

四宮「下瀬に探させています。しかし、私は人の書類を勝手に

読んでもらいたくなかったのですがね」

東雲「おや？そいつはすまなかつたな」

四宮「どこまで読んだ？」

東雲「あんたが末岡に促進剤をぶち込んだところまでかな」

四宮「注射??%↓02クリティカル」

東雲「オイオイオイオイ、死んだわ俺」

KP「回避不能かダメージ2倍、どっちがいいですか？」

東雲「2倍に決まってるだろ。当たんなきやどうということはない」

東雲「回避36%↓98ファンブル」

KP「……」

東雲「救いはないんですか！」

KP「それでは、即座に体に毒が周り、尚且つCON対抗ロールも自動失敗

というところで、貴方は意識を保ちながら筋肉が麻痺し動けなくなります」

東雲「ぐっ……」

四宮「君も私の実験材料にでもなってもらおうか。」

サンプルは多いに越したことはない」

KP「それでは、一時帝坂さんの方へ移りましょう」

KP「帝坂さんは、彼についていきますか？」

帝坂「単独だと怖いんで、隈田も連れていきます。」

別に僕『だけ』じゃないんでしょ？

KP「ええ。付いていきますか？」

隈田「うん。こいつ戦闘技能を一切持ってないからね」

KP「はい。それでは、下瀬に連れられて四宮さんの診療室に来ました。」

そこには、倒れている東雲さんと四宮さんが居ました

KP「寝ているのかと思いましたが、目が半開きで少し痙攣しています」

帝坂「おやおや、これはどういことでしょうか」

四宮「一度起きて貴方達を呼ぶようにおっしゃったので、
下瀬に呼びに行かせたのですが、また体調が優れなくなったの
か、

寝てしまいました」

帝坂：心理学で

KP：心理学95%↓??

KP（うわ、クリっちゃった）

KP：東雲さんは四宮さんに攻撃されてこうなったことを察します

帝坂：おやおやおやおや。もう確実じゃないですか

帝坂「そうですか。寝てしまったならしょうがないですね。屋根裏
部屋のことを

話したかったのに」

四宮「!?!」

隈田：え？それ言っているの？

帝坂：いいんじゃないですかね、別に。現状、東雲さんを救うには
気を引かないと

四宮「屋根裏部屋……?」

帝坂「ええ。他にも、貴方がたが人体実験をしたり、後はワダツミ
興業の

上層部の方を治療なさっていることとか」

四宮「何を言っているのか……」

帝坂「洋の間でこんなものを拾いました。これは、魚の鱗ですね。

これと似たものを屋根裏部屋で見ました。最も、その持ち主
でしたが」

帝坂「頭がどうにかしていても話聞いてはくれないし、

手枷足枷口枷までまでされて身動きできなかつたので、

彼のものではないようですね」

帝坂「まあそれはいいとして、洋の間の装飾品を見る限りかなりの
金持ちであることが解ります。しかも四宮さんはワダツミ

興業の

専属の医師ですから、ワダツミ興業のお偉いさんであること

は

一目瞭然といったところでしょうか」

四宮「……ふはははは、大した想像力だ。では、それを証明できま
すかな？」

本土に行つて今言つたお話を警察にでもされるおつもりで
すか？」

帝坂「ま、今言つたお偉い云々は証明できそうにないでしょうね。

それに貴方がたもすぐにでも上の人を別の場所へ移し、

証拠隠滅を図るでしょう。でも、一つお忘れではないでし
ょうか。

僕らは『上』に行つたんですよ？大事なものを忘れてきてい
ませんでしたか？」

四宮「ま、まさか、診療記録を！」

帝坂「これですかね」

帝坂「さっきの診療記録をちよつと見せてまたしまします

帝坂「これを見せればいくらトロくて馬鹿で愚図で屑で愚鈍で

外道な警察でもこれを見せればすぐに事態を理解するで
しょうね。

これにはあなたの指紋もたつぷりでしょうしい？」

帝坂「少なからず今通りの生活を送るのは難しいんじゃないですか
ねえ？」

隈田「スゴク私怨が入ってる

帝坂「一回警察に捕まったことがあるので

KP：四宮は、東雲の首に注射器を突きつけます

四宮「それを、渡せ」

帝坂「おおつと、勘違いなさらないでください。別に僕はこれを警
察に

密告しようなんて思つちやいけませんよ」

隈田「へ？」

帝坂「何であなたが驚いているんですか。これは金の卵ですよ。
渡すはずがないじゃないですか」

隈田「脅すってことですか!？」

帝坂「あら言葉が悪い、取引と言つて下さい。僕は貴方がたと

取引がしたい」

四宮「取引ですと？」

帝坂「ええ。まずは我々全員の命の保証。そこで寝てる東雲さんのもです」

帝坂「もう一つ、彼の探偵事務所の設立の費用と、僕が生活に困らない程度の

お金ですかねえ」

隈田「やつぱりお金じゃないですか!そんな脅し取ったお金を使つてまで

夢を叶えようとは思いません!」

帝坂：さあ乗つてこい。言いくるめ

帝坂：言いくるめ95%↓79成功

四宮「分かりました。乗りましょう。まずは、それを渡してください」

帝坂「その首に突き付けている注射器……あとそれと、それ以外の凶器を

全て、勿論下瀬さんもですよ」

KP：四宮さんは注射器を2本、下瀬さんは斧を落とします

帝坂：ヒエ

隈田：や、やっててよかったね

四宮「さあ、もう凶器となるものは全て捨てました。それを」

帝坂：心理学で

KP：心理学95%↓??

KP：嘘はないと確信しました

帝坂：スペシャルでも出ましたかね

帝坂「何を言っているのですか。こんなところで渡してしまつたらすぐにでも殺されてしまうでしょうねえ」

帝坂：と、近くの斧を拾い上げ、注射器を一個一個壊します

帝坂「あーとー、契約書を作っていただかないとね。」

それができるまで預かっておきます。はい、隈田さん」

帝坂：隈田さんに投げ渡します

隈田「うわわわっ」

帝坂：さーて、どう出るっかなー

四宮「ふ、ふざけ……」

KP：その時、奥の方で体を起こした人間が居た。末岡である

帝坂「おや、末岡さんが目を覚ましたようですが……」

KP：末岡さんは、両手で四宮さんの頭をわしづかみにし、女性とは思えない怪力で

持ち上げます

隈田「ななな何やってんですか!!」

KP：それから松岡さんは急激な成長期を迎えます。頭から髪の毛が抜け落ち

体は醜く肥大化していきます

帝坂：(U、V、) (W、I、U、R、S、K、N、I)

東雲：あのさ、俺もうそろそろ起き上がってもいいんじゃないの？

KP：あ、すっかり忘れてた。いいですよ。

帝坂さんが大分時間を稼いでくれたので

東雲：サンキューテツイ。その末岡から離れる

帝坂「あ、東雲さん。おはよ」

東雲「おはよじゃねえ、さつきからずっと話は聞こえてたんだよ」

隈田「そうだったんですね」

KP：末岡さんは、顔が目と目が離れ、カエルのようになり、魚のような

鱗が発生する

四宮「まさかこれほど急激な変化があるとは……素晴らしい、これで怪物へ

変質を促す体内物質の特定はできた。後はそれを抑制できれば
マダムを治療できる……」

KP：その瞬間、末岡(?)は四宮さんの頭蓋を噛み砕きました

帝坂「おえっ」

隈田「わ、わわわわ」

東雲「抑制ね、確かにこれの治療ができれば気持ちいだろうな」

KP：四宮さんの無残な死にぎまと怪物化した末岡さんを見て

1 / 1D8 + 1 の SAN チェックです

帝坂：SAN 71% ↓ 78 失敗 1D8 + 1 ↓ 9

隈田：SAN 73% ↓ 71 成功

東雲：SAN 49% ↓ 69 失敗 1D8 + 1 ↓ 2

帝坂：アイデア 90% ↓ 21 成功 1D10 ↓ 5 釘付けになる恐

怖症

帝坂：\ (^ o ^) /

KP：流れるように最大値を引いていく。

初発狂なのでクトゥルフ神話技能を進呈しましょう

帝坂：使う前に死にそう

KP：その化け物は、その死体を振り回し、機械や照明を破壊して
いく

下瀬「くそ、化け物め！」

KP：と言って、勇敢にも向っていきます

東雲：んま、アイツの仲間みたいだし、仇討ちぐらい好きにさせて
やるか。

精神分析

東雲：精神分析 67% ↓ 09 スペシャル

KP：よく出るなホント。1D4 の SAN 回復を認めましょう

帝坂：1D4 ↓ 2 SAN 62 + 2 = 64

帝坂「……ここどこです？」

東雲「もっかい化け物見せてやろうか」

帝坂「やめてくださいよ。イヤホント」

隈田「ふざけてないで逃げますよ！」

KP：こちらは夢華さんサイド。バタバタと駆けながら男三人が

雪崩れ込んできました

夢華「どうしたの？そんなに慌てて」

隈田「逃げるよ！早く！」

歌音「どうかしましたか？」

東雲「後此処に数分もいれば俺達が慌てている理由も分かるだろうな」

KP：そんなに時間もかからないようですね。すぐにでも巨大化し、

さらに化け物じみた姿を持つ末岡（？）は壁を突き破ってやってきました

一同「二「ギャア——！！」」

KP：1/1D10のSANチェックです

帝坂：またですかあー？

帝坂：SAN64%↓01クリティカル

隈田：SAN72%↓04クリティカル

夢華：SAN46%↓96ファンブル 1D10↓4

東雲：SAN47%↓17成功

KP：お前たちの出目はどうなってんだ!!

帝坂：もう私……何も怖くない！

隈田：そりゃ1クリなら怖くないね

歌音：SAN54%↓05クリティカル

倉重：SAN34%↓93失敗 1D10↓1

東雲：そつちもそつちだな

帝坂「こいよ化け物……爪なんか捨ててかかってこい！」

化け物「ヤロオオオブッコロシテヤラアアア!!」

夢華「何あの独特な鳴き声の化け物！」

隈田「あれはベネット仕様なだけじゃないかな……」

東雲：あの資料に書かれていた燃える目の模様のことを手短に話す

東雲「嬉しいことに、アイツには弱点がある。燃える目の模様が嫌いらしい」

帝坂「燃える目の模様？何でそんなものを」

東雲「知るかよ。前世でなんかあったんだろ。あの深の間の絨毯に同じものがあつただろ。あれを持ってくれば撃退できると思う」

歌音「あ、あれを使うんですか？」

東雲「ああ。今はあれしか対抗策が無い」

KP：歌音さんは、その返事を聞くとかささず玄関の方へと走っていききました

隈田「え？何で!？」

隈田：キヤラ的には後を追うだろうなあ

帝坂：いえ、追うのは後にしましょう。大抵こういうシナリオでは探索者の武器になる倉庫があるはずです。ありますか？

KP：バッチリありますね

帝坂：よろしい。そして、東雲のこの描写を見返してみましたけど、

血液を調べる機器は勿論電気で動いてるわけですが、こんなところでやっていてはそれも尽きる。発電機が必要

です

KP：つまり？

帝坂：発電機を動かす燃料とかあるはずですよ。ガソリンとか

KP：ソーラーパネルかもしれませんよ？

帝坂：探索者の武器庫として設置されたのにそれはないでしょう

KP：はいはい、ありますよ。ガソリン

帝坂：それ取りに行きます。その後薪も持っていきましよう

隈田：燃やす気満々だね

東雲：これから毎日家を焼こうぜ？

KP：では帝坂さんはそれらを取りに行くよ。他の方は？

帝坂：夢華ちゃんと倉重さんにも持っていくの手伝ってもらいましようかね。

んで、探偵（笑）と名医（笑）チームは時間稼ぎで

隈田：うええええ

東雲：一番辛い役回りやらせてんじゃねえよ

帝坂：まともに戦えるのは貴方たちしかいませんし

KP：了解しました。それでは、戦闘開始です

隈田：僕が持っている斧を東雲さんに渡しておきます

KP：はい。という事で東雲さんから

東雲：斧で頭をたたき割る。燃やす前に殺してしまってもかまわんのだろう？

KP：斧は初期値は20%です。ダメージは1D6+1+dbです

東雲：斧20%↓36失敗

KP：やはり持ったことのない武器を振るうには無理があつたようです

隈田：武道拳70，61%↓60成功 2D3↓6

KP：いいダメージだ、感動的だな。だが無意味だ。通つたのは2ダメージです

隈田：装甲あるの!?

東雲：しかも4かよ。これ俺成功しても最大3ダメージかよ

帝坂：ああ、デザートイーグルがあれば……

KP：前のような基地外探索者は許されないんDA

帝坂：次は僕と夢華ちゃんですね

KP：それではダイスロールで決定しましょう

帝坂：1D100↓24

夢華：1D100↓09

KP：では夢華ちゃんの行動ですね

夢華：どつちが先でもやることは変わらないんだけどね。倉庫に向かう

帝坂：僕も同じく

KP：さいごに倉重さんと怪物の行動順決定ロール

倉重：1D100↓62

怪物：1D100↓17

怪物：鉤爪??%↓43成功 3D6↓11

隈田：じ、11……

東雲：どつちかが喰らえば瀕死もいいところだな

KP：そうですね、離脱した二人を除いて1D3↓3倉重ですね
倉重：回避18%↓23失敗

東雲：こいつ遅えな

KP：倉重さんは強烈な鉤爪を食らい、自動気絶です。二ターン目に入ります

東雲：医学で治療してやる

東雲：医学99%↓66成功 1D3↓3

倉重：HP1+3=4

倉重「う……」

東雲「起きたか？起きたならとつととあいつらを手伝いに行け」

倉重「う、は、はい」

隈田「倉重さんを傷つけたな……喰らえ！」

隈田：武道拳70，61%↓52成功 2D3↓3

KP：逆に弾き返されてしまいます

隈田「いったーい！」

東雲「何やってんだこのバカは」

倉重：1D100↓70

怪物：1D100↓16

怪物：鉤爪??%↓70失敗

KP：ここで倉重さんも逃げられます

KP：コロコローつと。おやおや

KP：巡り巡って東雲さんの番

東雲：あのダメージ量はまずいな。待機しておく

KP：次は

隈田「ホワタア！」

隈田：武道拳70，61%↓78失敗

KP；盛大に空振りしました

東雲「何やってんだこのバカは」

怪物：鉤爪??%↓12成功 3D6↓13 1D2↓1隈田

隈田：回避32%↓59失敗

隈田：あ

東雲：オイオイオイオイ、死んだわあいつ

隈田：HP 12 | 13 || 1

KP：怪物の鉤爪は弧を描くと隈田さんの身体を抉り飛ばし、血を撒き散らした

KP：次ターン中に蘇生できないと死にます。第三ターン

東雲：KP、俺は医療器具を持ってきているはずだ

KP：緊急医療用靴ですね

東雲：そうだ。耐久+1を認める（威圧）

KP：わ、分かりました

東雲：医学 99% ↓ 42 成功 1D3 + 1 ↓ 3

隈田：HP? 1 + 3 || 2 まだ自動気絶

怪物：鉤爪??% ↓ 28 成功 3D6 ↓ 13 1D2 ↓ 1 隈田

KP：さらに追い打ちをかける怪物

東雲：KP、隈田を引っ張って回避する。認める（威圧）

KP：は、はい。東雲さんのSTRと隈田さんのSIZの対抗と尚
且つ

怪物とのDEX対抗で

東雲：DEX対抗は自動成功だな。振るぞ

東雲：STR vs SIZ 25% ↓ 08 成功

KP：出目がよろしいようで。回避できました

東雲：こいつももう傷ないんだよな。どうしょ。待機で

怪物：鉤爪??% ↓ 80 失敗

帝坂「お、死んでんジャーン」

東雲「瀕死だが生きてるよ」

KP：これから今来たばかりの3人の行動を許可します

帝坂：ま、やることは一つですね。ガソリントankのふたを開け、

帝坂「おおおーッ！燃えろ！俺の黄金の右腕ッ！

ガソリントankをシュー！」

帝坂：投擲 25% ↓ 27 失敗

帝坂：惜しかった。あの魚人にはかかっていますか？

KP：幸運で

帝坂：幸運75%↓19成功

KP：よかったですね

夢華：もう一発。っていうか私は幾つ薪を持つてるの

KP：1D100でも振ります？（笑）

帝坂：1D100↓35

KP：本当に振るな!!えーっと、STRの半分で

夢華：4本ね。

夢華：投擲25%↓32失敗

倉重：投擲25%↓39失敗

帝坂：あーあ。だーめだこりゃ

KP：すべて見当違いな方向へとすっ飛んでいきます

KP：それでは戦闘再開です。DEX順でまた行動してもらいます

東雲：で、また俺になるのか。もうあと燃やすだけだし、近寄らん

とこ

隈田：で、僕は動けないと

帝坂：んで、僕から行動していいですか？

夢華：いいわよ。とつとと焼き魚にでもして

帝坂：僕の貴重なジツポで焼き魚にしてやりますよ

帝坂：で、これは何ルールになります？

KP：近づいてDEX×5、燃えた炎が自分に飛び火しないよう幸運ですね

帝坂「KQツ！」

帝坂：DEX×5 70%↓09スペシヤル

KP：お前……

帝坂：これは幸運成功ですね

KP：OK、それでいいでしょう。それでは、1ラウンドに1D6ダメージを受け続けます

隈田：あれ？このまま燃えて終わりじゃないの？

KP：ま、いつかはそうでしょうね。次は夢華ちゃん

夢華：え、どうしよう。隈田はもう治療しちゃったし、することないから

待機で

怪物：1D6↓4

倉重：1D100↓45

怪物：1D100↓30

隈田：何かさつきから怪物の出目いいね

KP：いやあ、探索者が殺せて私はハッピーです

怪物：1D6↓6 HP??—6||?

怪物：鉤爪??%↓50成功 3D6↓8 1D5↓1帝坂

帝坂：うわ、来やがったよ

KP：しかも燃えている爪なのであなたも幸運失敗すると燃えます

帝坂：幸運は75もある

帝坂：幸運75%↓20成功 HP12—8||4

帝坂：シヨックロール 75%↓51成功

KP：腹を深くえぐられたが、何とか意識の蝟燭を保つことができ

た

帝坂「ごふっ」

夢華：応急手当45%↓09スペシャル

怪物：1D6↓1 HP?—1||?

KP：よく出すなあ!!1D3+1で

夢華：1D3+1↓3

帝坂：HP4+3||7

夢華「大丈夫?」

帝坂「若干痛みが引いた気がします……あたた」

KP：最後に倉重さんは、丸太を持ってダイレクトアタック!

怪物：1D6↓5 HP?—5||?

倉重：大きい棍棒25%↓62失敗

KP：次は第4ターン

怪物：1D6↓5 HP?—5||—3

KP：あ、死んだ

東雲：俺が行動する前に動かなくなつたぞ

KP：よかつたじゃないですか

東雲：まあ下手に振ってフアンブルだと辛いつてこともあるが
帝坂：貴方の出目のふり幅がやばいでもんね

隈田：01クリ出した後に00ファン出したりするもんね

KP：はい。後日談行きましようか

KP：怪物化した末岡を焼き殺した貴方達は、翌日、迎えに来てく
れた漁船

によって助けられる。この後警察に証拠品を突きつけても

ワダツミグループと四宮との接点は見つけられませんでした

帝坂：あのフィッシュ面はどう処理されるんでしょうね

KP：多分ただのブサイクと処理されるんでしょう

帝坂：扱いがハイパー雑

KP：警察への対処が終わると、探索者たちはY県港で歌音さんと
再会する

KP：まあ、倉重さんと帝坂さんと隈田さんは病院送りですがね

夢華：私も隈田に付き添ってる感じかしら

隈田：そう言えば僕瀕死だった

帝坂：地味に結構な大怪我しましたね僕達

歌音「あら、東雲さん」

東雲「どーも。混血種ちゃん」

歌音「……」

東雲「お前もあの化け物の血を継いでいたってわけか」

歌音「ええ。」

東雲「まあ、鱈島からここまで泳ぐ何てことできるのはそんな奴ぐ
らいだろうな」

歌音「私は、気づいてしまったの。この呪われた血筋に。もう人
は戻れない。」

貴方達がこの海の香りを懐かしいと思う日が来れば、また会う
ことでしょう」

KP：そう言っつて、彼女は歩き去ってしまいます

東雲「……人間の基準ってなんだろうな」

KP：数週間後

隈田「……」

夢華「……」

倉重「……」

東雲「……」

四人「「やったー!!」」

隈田「隈田探偵事務所、開業！」

夢華「今日からは少し肩の荷が下りるわね」

東雲「俺が金出してやったんだから、しっかり働けよお前ら」

倉重「うう……こんな何の取柄もない中年を拾ってくださいって

……」

夢華「泣くんじやないわよ、いい大人が」

倉重「あ、ありがとう……」

KP：それから、カランと扉が開く音がした

????「ごめんくーださい」

隈田「お、初のお客さんだ。いらっしやいませ……?いや、違うか

な

夢華「お客様、この度はどのような御依頼でしょうか。」

どのような御依頼でもすぐさまうちのスタッフが解決いたし

ましよう」

東雲「ガキの方がしつかりしてんじやねえかよ」

て???「ああいや、別に依頼があったわけじやないんですよ」

隈田「へ?ではどうしてここで?」

てい??「張り紙を見てきたんですよ。従業員、いるんでしょ?」

隈田「え、じゃあ就職に来たと」

ていさ?「ええ。これで僕も放浪者を抜けられる」

東雲「放浪……お前」

夢華「あ」

隈田「あ、あー!」

帝坂「久しぶりです。皆さん」

PL1：ほぼほぼネタセッションだったのに最後まで綺麗に纏められると

すげー違和感

PL2：ほぼほぼ君の斜め上の行動のせいだよなあ

PL4：いや、まだましだろ。前俺がKPしたときコイツ出てきた

NPC

脳天吹っ飛ばして詰んだことがあつたし

PL3：そういやトリガーハッピーだったわね

PL1：そうですよ！途中で心理戦をKPが強引に切ってますげーモチベ下がって

何もする気起きなかつたんですから

KP：ちなみに満足させるまでやらせてたら？

PL1：全員を饜来宮の中に押し込めたうえで火を放って

焼き討ちにするつもりでした

PL4：切っててよかったなKP

KP：ええほんと

KP：さて、このとんでもない冒険を生き抜いた探索者たちは

1D10のSAN回復です

PL1：1D10↓1 SAN63+1||64

PL2：1D10↓8 SAN71+8||79

PL3：1D10↓10 SAN42+10||52

PL4：1D10↓1 SAN46+1||47

PL1：一番減ってる僕が1……

PL2：インガオホー

PL4：ワザマエツ！

PL1：ちくしょお、せつかく、命がけで生き延びたのに……

せつかく覚悟を決めて倒したのにイツ！

PL3：まるでイルーツオ

KP：それと、成長ロールができます。えーつと、

今回クリティカルとスペシャルが出たのは帝坂（跳躍、言いくるめ、心理学）

夢華（応急手当）、東雲（医学カンスト、精神分析）

KP：そうですね、帝坂さんの跳躍は初期値成功&クリティカルなので

2D10の成長を許可します

PL1：お、やった

PL1：跳躍25%↓26 2D10↓13 跳躍25+13=38

8

PL1：言いくるめ95%↓47

PL1：心理学95%↓72

PL3：応急手当45%↓86 1D10↓5 応急手当45+5

||50

PL4：精神分析67%↓73 1D10↓3 精神分析67+3

||70

KP：それでは、これで『血は海の水より濃くて』のセッションをこれで

終了します。お疲れ様でしたー

一同：お疲れ様でしたー

相対する狂乱

PL1：クトウルフやる人々？

KP：一人しかないよ？

PL1：何です？あなたやらないんです？

KP：私がないとセッション進まないよ？

PL1：それもそうですね。推奨技能は？

KP：オカルト、目星、聞き耳かな

PL1：了解、出来ました

天道・相似 性別：男 年齢：22

職業：放浪者 母国語：日本語

STR：16 DEX：16 INT：14 アイデア：70

CON：3 APP：13 POW：14 幸運：70

SIZ：17 SAN：70 EDU：16 知識：80

HP：10 MP：14 ダメージボーナス：+1d6

言いくるめ：85% 聞き耳：85% 心理学：85%

他の言語（ラテン語）：91% 目星：35%

芸術（変身ポーズ）：65% 回避：72% キック：65%

・所持品

「スマホ、カブトゼクター」

KP：お前放浪者しか使わないな？

相似：使わないよ？

KP：このリプレイ風セッションでは小人白夜様の「相対する狂乱」のネタバレ要素があります。ネタバレが嫌、

という方はここでさよならです。

KP：それではこれからセッションを開始します、よろしく

相似：よろしくお願いします

KP：あなたは特にこれといったことはなく、いつも通りの日常を謳歌しています。

相似：ワームを倒しています。

相似「変身」

相似：芸術（変身ポーズ）65%↓23成功

カブトゼクター「HEN—SHI」

相似「キヤストオフ」

カブトゼクター「CAST—OFF」

カブトゼクター「CHANGE—BEETLE」

KP：終わった？

相似：終わりました

KP：図書館かコンピュータ振ってください

相似：図書館25%↓39失敗

KP：では、何もわかりませんでした。これから就寝まですることないんですけど、何かします？

相似：そうですね、ワームを倒しています

KP：別に総司さんはワームばかり倒してるわけではないんだぞ

？

相似：総司さんはそうでしょうね。相似はワームばかり倒してま
す

KP：そうですか。では、ワームとの戦闘に入ります

相似：!?

KP：どうしたんです？その顔は。戦いたいんでしょう？

KP：私は先日の血の海でルーニーは許さないことに決めました

相似：フツ、いいでしょう。かかってきなさい

相似：でもワームのデータなんかありませんよ

KP：食屍鬼のやつを流用します。戦闘開始です。先行は相似から

相似：キックします

相似：キック65%↓65成功

相似：あつぶね

ワーム：??22%↓72失敗

相似：2d6↓5

ワーム：HP??—5||??

KP：それではワームの攻撃

ワーム：攻撃??%↓16成功

相似：おつ、これで回避स्पットしたらライダーキックしていいですか
KP：いいですよ、できるもんならね

相似：回避72%↓00ファンブル

相似：!?

KP：!?

KP：では、1d6+1d6+1d6を受けていただきます

相似：あつ、これは死んだ

ワーム：3d6↓6

相似：HP10―6∥4 ショック15%↓72失敗

KP：それでは、あなたは強烈な痛みとともに意識が闇へと引きずりこまれる。聞き耳振ってください

相似：聞き耳85%↓52成功

KP：技能判定に成功した探索者は、意識を手放すタイミングで扉が開く音と類似した音を耳にしたことを認識する。

相似：扉が開く音……？

KP：探索者が次に目を覚ますと、緑で統一された部屋が広がっている。

KP：見ず知らずの部屋で目が覚めた探索者はSAN値チェック：
0/1d3。

相似：SAN70%↓78失敗 1d3↓2 70―2∥68

KP：部屋は、コンクリート製のような質感の縦に長い長方形の密室である。

KP：部屋は正方形、移動できるだけの広さがあるため感覚的には狭いが、窮屈とは言い難い。

KP：部屋は緑の壁が広がり、真ん中にはテーブル、ベッドが配置されており、テーブルの上にノートとライトがある。

KP：全て緑である。探索者の荷物はなく、探索者の服はライトの光で緑がかっている。

相似：ゼクターは持つていいですか？

KP：ゼクター……いいんじゃないですかね

相似：気を落ち着かせるために変身します

KP：ええ……どうぞ

相似：芸術（変身ポーズ）65%↓88失敗

KP：ゼクターはご機嫌斜めのようにです

相似：しようがないので部屋に目星をします

KP：どうぞ

相似：目星35%↓56失敗

KP：えー、失敗しましたが、シミを見つめます

相似：シミですか。では、ライトとノートを手に取ります

KP：ライト。・緑色の光を放っているスタンドライト。覗き込むと緑色の光がついてついている豆電球と、

ライトの傘の内側に「メモ2」が貼りついている。

KP：ノートは緑色のノートが閉じた形で置かれている。ペンが一本ページの間に挟まれている。

緑のノートに濃い緑色の文字で日記が記載されている。3ページにかけて文字が刻まれている。

《1ページ目》

『ここが何処なのか分からない分からない分からないわからわからな、ない

気が狂いそう狂うくるってる、くるう、気を紛らせないとぐちゃぐちゃになりそうだ』

《2ページ目》

『とびらはどこだ、だしてだしてだしてだしてどうして出して出しいやだ、いやだどうしてこんなことになったの私は何をしたというの

こんな場所に、なんでなんでいやだいやだ

見たい』

《3ページ目》

『あかがみたい』

そのページ一面が何か濃い何かで塗られており、ペンの先端から持ち手にかけて何かがつとりと付着している

相似：2ですか。2があるなら1もあるはずですが……

KP：アイデアを振ってください

相似：アイデア70%↓91失敗

KP：では何もわかりません

相似：こいつ何にもわかんねえな。テーブルに何かは？

KP：右と左に引き出しがついています

相似：両方開けます

KP：右にはナイフ、左にはメモ1がありました。

相似：両方調べますか

KP：メモ1にはこう書いてあります

『血は神聖なものである。かつて神の子は血を流し、人々の罪を一身に背負った。』

血が全ての罪を洗い流したのだ』

相似：裏には？

KP：裏にはですね

『夢とは残酷だ。だが素直な開示だ。人は時にそれを天命だと言う。夢は素直に己の状態を教えてくれる。』

KP：知識を振ってみてください

相似：知識80%↓57成功

KP：それでは「自身の見た夢を元に今後の人生や今の人生を占う夢占いというものがある」と思い出します

相似：なるほど。

KP：ナイフの方は、オカルトか博物学に成功すると情報が出ます
相似：どつちも初期値だなあ。変身クリしたら成功率に補正もらえ
ませんか？

KP：いいですよ？出せるならね

相似：変身65%↓21成功

相似「変身」

ゼクター「HEN—SHI」

ゼクター「CHANGE—BEETLE」

KP：初期値で振ってください

相似：オカルト&博物学（5、10）%↓05クリティカル

KP：えええええええ!?

相似：ほら、早く情報吐きなさいよ

KP：え、ええつとですね、それがククリと呼ばれる儀式用に使われるナイフではないかと分かります

KP：クリティカルは……つてですね。ハイパーゼクターが手に入ります

相似：素晴らしい。ハイパーキャストオフします

KP：ど、どうぞ

相似「俺はすでに、未来をつかんでいる。ハイパーキャストオフ」

ハイパーゼクター「HYPER—CAST—OFF」

ハイパーゼクター「CHANGE—HYPER—BEETLE」

相似：ベッドを調べます

KP：ベッドは床の上に乱雑におかれ、少し湿っている。知識を振ってください

相似：知識80%↓52成功

KP：『布団が寝室以外の別の場所に敷かれている夢は、現在自分が置かれている立場や状況には、

安らぎがないことを暗示している』

KP：また『布団に何らかの異常を感じる夢は、

心身の負担や体調の不調を訴えている』とわかる

相似：なるほど、夢か。KP、変身にクリつたら起きれていいですか

KP：ダメです

相似：チツ、じゃあメモ2を見ます

KP：基本ルルブP290記載の門の発見の呪文を取得します

相似：お、帰れんじゃん

KP：まあ門がないと機能しないんですけど

相似：そう簡単にはいかないか。

相似：えー、現状でわかるのは、キーワードは『血』、そして『門』

KP：違うライダーになりかけてませんか？

相似：まず、ナイフはおそらく僕自身を傷つけ、血を出させるもの、門の呪文で帰れる……

相似：まず用途不明なのがスタンドライト。これ最初っからついてるんです？

KP：ライトの光って言うてるんだし、ついてるんでしょうね

相似：消します

KP：消す。すると、豆電球の緑色がうごめき、光が遠くなる間隔を抱くと同時に部屋が暗くなる

相似：部屋!?

KP：そして、メモ2に緑色に発光した文字が浮かび上がる

『門へ罪を洗い流したものに、牢獄から出る権利を与えん』

相似：つまり出血しろと……そんなことは最初から分かってんの!!

相似：とりあえず、スタンドライトをつけます

KP：部屋が明るくなります

相似：ヤバい、ふざけすぎて半分ぐらい頭に入ってない

相似：そういえば、最初のころにシミが合ったっばいですけど、あれは血のシミですか？

KP：医学でどうぞ

相似：医学5%↓63失敗

KP：何もわかりませんでした

相似：まあ何のシミかと言われて医学で調べさせるんなら血なんでしょうね

相似：シミの部分にナイフで指を切って血をつけます

KP：付けました

相似：門の発見を唱えますか

KP：順序が逆では？

相似：あー、そうですね。じゃあ発見しないでいいや。その門に飛び込みます

KP：はい。身体には傷はなく、問題なく息もできる。問題なく帰れた——

KP：そう探索者が感じていると、探索者が通った門がゆつくりと

